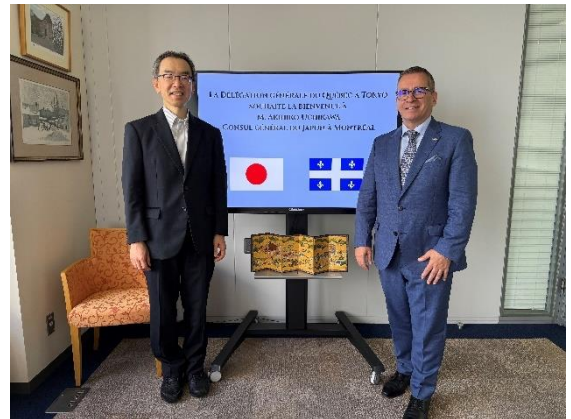


少し肌寒くなってきましたが、ケベックの方々には「まだ暖かいですね！」と言われる中、皆様いかがお過ごしでしょうか。本格的な冬が来る前のこの時期に、引き続き当地では様々な行事がありました。

● ケベック州政府在日事務所との懇談

9月3日、日本に一時帰国した際に、東京にあるケベック州政府在日事務所を訪問しました。1973年創設のこの在京事務所は、ケベック州の在外事務所の中でもDélégation générale/General delegation という最も格の高い位置づけで、ケベック州の日本に対する重視の姿勢を表しています。ジラル代表や各所員の方々と直接お話をするととても良い機会でした。御赴任前から当地でお会いしていたジラル代表も日本の生活に慣れられて、7月のビロン前国際関係大臣の訪日受入を含め、事務所を挙げて日本とケベック州の関係深化のため精力的に活動されているようでした。ケベック州にとって日本は第三位の貿易パートナーであるところ、日本への主要輸出産品の一つは豚肉です。そこで、事務所の方に教えてもらい、ケベック肉を出している都内レストランにてケベック産豚肉をおいしく頂いてきました。私を温かく迎えてくださったジラル代表はじめ在京ケベック事務所の方々に感謝申し上げると共に、そのますますのご発展をお祈りします。



● 日本企業訪問

ここ数ヶ月、日本人駐在員の方が居ない日本企業を訪問しています。モントリオール日本商工会会員企業の方々とは恒常的にコンタクトがある一方で、それ以外の日本企業とはこれまで比較的接触が少なかったためです。各企業とも我々を歓迎してくださると共に活動の概要について詳しく説明くださり、それぞれの分野でめざましい貢献をされていることがよくわかりました。日本の本社にしばしば出張に行かれる方や、本社の理念を通じて日本的価値観に理解のある現地社長・社員の方々が多く、新たな日本の友人を発見した思いでした。

● 世界ドーピング防止機構（WADA）

17日、当地に本部が存在するWADAのオリヴィエ・ニグリス事務局長を表敬し、アンチドーピングの取り組みの現状に関して伺いました。WADAの取り組む事項についても地政学的状況が複雑に絡んでいることや、日本のように、薬物使用や「ずる」をすることが悪いことであるとの教育や社会規範が徹底していることの重要性などのお話がありました。



● アイスダンス

オリンピックの種目でもあるアイスダンス。男女カップルの選手が氷の上にて優雅な舞を披露する姿に芸術性を感じます。フィギュア・スケートの他の種目と違って、アイスダンスでは、原則として、ジャンプやアクロバティックな要素はプログラムに組み込まないそうです。スケートリンクが至る所にあるモントリオールには、各国から世界レベルのアイスダンス選手がトレーニングに励む「アイス・アカデミ

ー・オブ・モンリオール (I.AM)」があります。これまでも、ここから、多くの日本のトップクラスの選手が一流のコーチ陣や振付師の下で練習に励み、世界の舞台に羽ばたいて行ったということで、この分野では世界有数のアカデミーだそうです。19日、同校のコーチ陣や日本人アスリートの方々と懇談する機会を得ました。アイスダンスを通じて日本とケベックの深い絆が存在していることは嬉しい発見でした。日本人選手の皆様の更なるご活躍と同校の発展をお祈りします。

● 合気道

22日、合気道教室「Aikido de la Montagne」を訪問しました。その教室を主宰されている Claude BERTHIAUME 師範は、54年間にわたり合気道を続けられ、現在80名を超える生徒がいるこの教室に加え学校の夏季教室等でも教えられ、このたび、日本の本部道場から8段を取得されたとのことです。日本人以外で8段を所持するのは非常に希だそうです。Claude さんによると、同教室の正面に掲げられている看板を見て入門してくる周辺の学生さんたちも多いようです。練習風景も見学させていただき、静かに練習される姿に真剣さとともに心の平穏を感じました。当地に於いて合気道の普及に努める Claude さんや教室関係者の方々に心より敬意を表します。



● 人工知能 (AI)

ケベック投資庁によれば、マギル大学とモンリオール大学には、AI 関連分野において 250 名以上の研究者と博士課程学生が在籍しており、世界最大の AI 学術コミュニティを形成しているとのことです。23-25日開催された人工知能関連の当地イベント ALL IN を視察しました。今年で3年目、来場者 6000 人、スピーカー250 人、世界 42 カ国から参加という AI 関連では大規模イベントです。カナダ連邦ソロモン AI 担当大臣、ケベック州・フレシェット経済・イノベーション・エネルギー大臣、AI の父の一人と言われる Yoshua Bengio 氏などのキー・パーソンも登壇されていました。AI が本格的に実生活に入り始めている中で、会場では、その開発等に携わる方々の熱気を感じました。また、このイベントの一環で、JETRO トロント事務所が、Japan Breakfast at ALL IN という行事を開催し、日本から出張された企業等約 10 社とケベック・カナダのスタートアップ企業 8 社がネットワーキングをする会合にも出席いたしました。ケベック州やモンリオール市も力を入れているこの分野に、引き続き注目して行きます。





● 日本とマギル大学

・ 京都大学・マギル大学共催シンポジウム

9月29—10月2日にかけて、ゲノム医学に関する両大学共催のワークショップ・シンポジウムが行われました。2018年から、ゲノム解析において世界トップクラスの京都大学とマギル大学が緊密な連携のもとジョイント・ディグリープログラムを開設しているもので、今回は、当地で、この枠組みでのシンポが行われ、京都大学からも先生方が来訪されました。10月2日には、当館主催にて、このシンポに参加された両大学の先生方に加え、当地在住の日本の医師、医学分野の研究留学生、企業等、また、ケベック国際関係省から David Rangdrol インド太平洋局日本・韓国・オセアニア担当課長をお招きしレセプションを開催いたしました。この医療分野での関係も、日本とケベックの様々な絆の一つです。人々の健康のために日々尽力されているこれらの方々に感謝申し上げます。



・これに先立つ8月27日、高久首席領事は、マギル大学主催「the McGill Global Engagement Connector Series」オープニングイベントに参加しました。同イベントでは、マギル大学を代表する AI、医学、工学等の最先端分野の研究者から、各研究内容の紹介が行われました。続いて行われた国際学生歓迎レセプションでは、今年新たにマギル大学に入学した日本人留学生らと意見交換し、激励しました。マギル大学は日本の5大学と交換留学プログラム、日本の大学や研究機関と18のMOUを締結しています。

●ジョリエット市長表敬

9月30日、ベルローズ・ジョリエット市長と面会し、有力日本企業が古くから進出しているジョリエット市と日本の関係等に関して意見交換を行いました。市長や同市の関係者の方々からは、同市の誇るジョリエット市美術館にて温かい歓迎を頂きました。ジョリエット市の皆様、ありがとうございました。



●日本語学習

日本語学習プラットフォーム「JF にほんご e ラーニング みなと」(<https://minato-jf.jp> 以下「みなと」) は2016年の公開以降、年間約250の日本語オンラインコースを開講しています。



メインコースである「まるごと日本語オンラインコース」は、異文化を理解・尊重することを重視し、総合的な日本語力を身につけるためにデザインされた教材『まるごと 日本のことばと文化』をオンラインコース化したもので、現在、初学者向け入門 (A1) レベル、初級 (A2) レベル、初中級 (A2/B1) レベルが公開されています。一部コースはフランス語にても学習することができます。その他にも、アニメ・マンガ、俳句、華道、書道、茶道、漢字、関西弁などのトピックに沿ったコースも開講されています。日本語に関心のあるお知り合いの方々にも是非情報提供御願い致します。

● 外交青書

日本の外務省が発行している外交青書は、国際情勢の推移及び日本の外交活動をとりまとめたものです。1957年9月の第1号以来、毎年発行されており、最新版は2025年版です。その全文英語訳に加え仏語要旨版も出ています。日本外交の歩みを知っていただくための参考になれば幸いです。

(日本語) <https://www.mofa.nextweb/mofaj/gaiko/bluebook/index.html>

(仏・英語) <https://www.mofa.nextweb/policy/other/bluebook/index.html>

● 孤独・孤立相談窓口

孤独・孤立及びDV、性的被害等それに付随する問題でお悩みの在外邦人のための孤独・孤立相談窓口が設けられています。 <https://www.anzen.mofa.go.jp/life/info20210707.html>

こころがモヤモヤしたり、
ざわついたりするときは、
相談してみませんか？



匿名でも OK！

相談は SNS やチャットで可能！

海外にいても日本語で相談できます！

特定非営利活動法人

NPO

相談は無料です

相談窓口

あなたのいばしょ
チャット相談

24時間 365日、年齢や性別を問わず、利用できるチャット相談窓口です。
いつでも、だれでも、名前を問わずに相談員とチャットできます。
話したいことは、なんでも話せます。

<https://talkme.jp/>



生きづらびっと
自殺対策支援センターライフリンク

誰にも話すことができない「死にたい」、「消えたい」といった、
あなたのつらい気持ちを SNS (LINE) で相談できます。

<https://yorisol-chat.jp/>



チャイルドライン
チャット

チャイルドラインは、18 歳までの子どものための相談窓口です。
チャットをもちいて、相談員と 1 対 1 で相談することができます。

<https://childline.or.jp/index.html>



こころのほっとチャット
東京メンタルヘルススクエア

誰かに話したいことがあるけど、話せる人がいない。
一人で抱えているのはつらいけど、口に出すのもつらい。
そんなときは、LINE、Twitter、Facebook、
チャットで相談できます。

<https://www.npo-tms.or.jp/service/sns.html>



BOND プロジェクト

“生きづらさを抱えた 10 代と 20 代の女性” のための
世代に近い女性スタッフによる相談窓口です。
LINE を通じて一緒に考えて考えます。

<https://bondproject.jp/>



孤独・孤立
対策の支援を行っています

特定非営利活動法人と連携して海外在住日本人の

*上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などをすることができ、大変有意義な 1 か月でした。

*本メッセージは仏・英語にても、メルマガ読者に配信しています。